



地域経済季報

(令和5年4~6月期)

総評

今期は、新型コロナウイルス感染症の5類移行により経済活動に回復の兆しが見え始めている。とりわけ観光関連業では、大型連休に合わせて全国旅行支援もあったことで好調に推移した。飲食業では、懇親会付きの会議やイベントなどの団体需要が回復しつつあり、小売業では、来店数が増加した店舗も多く、コロナ禍前には届かないが、売上は前年同期と比較して増加している。家電では、半導体不足の影響は落ち着き、省エネを意識した商品に関心が向いている。建設業・製造業では、横ばいとなっており、建設資材等の仕入単価の高騰が続いている。どの業種についてもエネルギー価格や原材料価格の高騰により収益が悪化している。来期は、観光関連業では、イベント・催事での人流活発化による消費増加が見込まれる。小売業・卸売業では、猛暑が予想されるため夏物商材の需要増加に期待。建設業・製造業では、引き続き建設資材価格・エネルギー価格高騰の収束の見通しが立たず、予算を許さない状況が続くと予想。また、全業種に共通して、慢性的な人手不足となっており、すぐには回復しないと予想される。行政による補助施策等支援の拡充期待。

		前期状況 (1~3月期)	今期状況 (4~6月期)	来期見通し (7~9月期)	調査事業所のコメント
建設業		→	→	→	今期は、公共投資については、対前年比で横ばい。民間投資についても、新設住宅着工戸数は持ち直しの動きがみられる。コロナ禍の余波、ウクライナ侵攻等の影響による原材料価格やエネルギーコスト高騰を背景に、建設資材価格についても生コン・鉄鋼等を中心に依然として高止まりが続いており、収益を圧迫した。来期は、生コン等の建設資材価格の値上げ圧力は続くものと思われ、引き続き予算を許さない状況が続くと予想。
		→	→	→	今期は、前期に引き続き原材料仕入価格の高騰や電気料金の値上げに伴い、特に小規模企業が価格に転嫁できず収益が悪化した。「鳥根県エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金」などを活用し、設備の更新を行う事業所も多かった。来期は、盛夏を迎え空調等の使用頻度も増加するため、電気料金のさらなる負担増が懸念される。
卸売業		→	→	→	今期は、新型コロナウイルスの5類移行を受けて、昨年と比べ経済活動に回復の兆しが見え始めている。一方、原材料やエネルギー価格は下がる気配がない。結果として、売上は回復するが利益が減少する構造となっている。また、来年閉店する百貨店が担っていたお中元お歳暮など贈答品の落ち込みが懸念される。来期は、引き続き原材料、エネルギー価格の高騰により、厳しい状況が続くと予想される。
		→	→	→	今期は、進学や就職等の時期でもあり、紳士服、婦人服ともにスーツ系是好調であった。新型コロナウイルスの5類移行によるカジュアル衣料も好調であったが、コロナ禍以前の売上には戻っていない。来期は、スーパー・クールビズ等による購入単価安が進むことやメーカーの生産調整により以前のようなクリアランスセールが開催出来ないことなどから厳しい状況が続くものと思料。
小売業	衣料品	→	→	→	今期は、進学や就職等の時期でもあり、紳士服、婦人服ともにスーツ系是好調であった。新型コロナウイルスの5類移行によるカジュアル衣料も好調であったが、コロナ禍以前の売上には戻っていない。来期は、スーパー・クールビズ等による購入単価安が進むことやメーカーの生産調整により以前のようなクリアランスセールが開催出来ないことなどから厳しい状況が続くものと思料。
	家電	→	→	→	今期は、最高気温上昇に伴いエアコン需要に動きが見られた。半導体不足の影響も落ち着き、全体として省エネを意識した商品に関心が高まっている。市内企業においては「鳥根県エネルギーコスト削減対策緊急支援事業補助金」を活用した設備の更新需要もあった。来期は、夏場のエアコン、冷蔵庫等の需要に期待するとともに、大展示会場を使つての高談会等による販促に期待。
	自動車	↗	↗	↗	今期は、新型コロナウイルスによる部品の供給が不安定だったことによる生産調整の影響が縮小し、生産台数が回復してきたことにより、販売台数は前年同月比増であった。来期は、低燃費車やEV需要の後押しによる販売台数の回復と、中古車市場により当面は売上増加が続くものと思料。
	総合量販店	→	→	→	今期は、新型コロナウイルスが5類感染症に移行することが発表されたことから、ゴールデンウィーク前からマスクへの対応需要とみられるハイブランド化粧品が好調であった。また、催事についても入場・出店制限を設けずほぼコロナ前の規模で開催することができ活気があった。また、婦人・紳士服共に人が動く時期ということでスーツと、特に若・中年層までのカジュアルに動きがあった。しかし、企業の在庫処分の風潮やネット販売との競争で中元需要は縮小する一方である。来期は、催事による集客と秋頃から予定しているセールによる更なる売上増を期待。
業	スーパー	→	↗	↗	今期は、ゴールデンウィークや新型コロナウイルス5類移行による人流活発化もあり来店客数が伸びた一方、仕入れ価格の高騰による商品値上げが続いている。また、気温が高くなり推したことから涼味商材の売れ行きが好調で、行楽・イベント需要の回復も好材料となっている。来期は、商品単価の上昇が続くと予想されるが、節約志向による内食需要も受け堅調な売れ行きが期待される。また、猛暑の到来による夏物商材の動きの活発化にも期待。
	特産品	→	↗	↗	今期は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行もあり、また、観光客の来松も増えたことから、土産品を中心に売上は好調に推移した。しかしながら、仕入単価や配送料に係る経費が高騰しているため、利益については微増。来期は、夏季旅行シーズンもありたくさん来松による売上も期待。
サービス業	飲食	→	↗	↗	今期は、一部客足の戻っていない店舗も見受けられたが、新型コロナウイルスが5類へ移行したことで、会社関係の団体需要の回復やスナック等の2次会への客足も見られ始め、相対的には前年同期比で回復傾向となった。物価高騰や人件費の高騰も相まって、収益面を圧迫した。来期は、夏休みシーズンを迎え、引き続き観光需要の取り込みと地元顧客の飲食需要の回復に期待。
	旅館・ホテル	→	↗	↗	今期は、新型コロナウイルスが5類へ移行し、さらに全国旅行支援の下支えもあり好調に推移した。また、平日のビジネス利用客も持ち直しの傾向が出てきている。大型連休の予約はコロナ禍前の8割程度に回復。但し以前とは予約の入り方も変化があり直前にならないと数字がつかみにくくなっている。来期は、全国旅行支援の期間延長などを受けさらなる観光需要の回復に期待。
	運輸・旅客	↗	→	→	今期は、物価高騰等による出荷量の落ち込みが続いたが、新型コロナウイルス関連の規制等が緩和され、飲食・宿泊業の客足が回復。各種の懇親会付き会議、イベントの復活により、タクシーの稼働も戻りつつある。また、県内外への観光バス利用、学校行事の復活、県内外のイベントを経由したバス需要が見受けられるようになった。来期は、中元・シーズンや盆夏休み等好転材料があるものの、慢性的な人手不足であり、乗務員の確保が懸念される。

※売上の前年同期比について ↗ → ↘ により表しています。